

待脱気筒一般用 丸型/角型

取扱説明書

商品内容

一般用 丸型



- 付属品 (1個につき)
プラグレスアンカー4本
- 荷姿
待脱気筒一般用 丸型
1ケース2個入り

一般用 角型



- 付属品 (1個につき)
プラグレスアンカー4本
- 荷姿
待脱気筒一般用 角型
1ケース2個入り

断熱用コア



- 付属品 (1個につき)
プラグレスアンカー4本
- 荷姿
断熱用コア
1ケース2個入り

注意 ・ケガを防ぐため製品を取り扱う際には必ず手袋等を着用して下さい。
・破損の原因になりますので製品に乗ったり衝撃を与えないで下さい。

塗膜防水施工例 — 目地、通気緩衝シートを利用した施工例 —

※下記の施工手順は一例になりますので実際の施工方法は各防水メーカー様の仕様に準じてください。

1

目地をきれいに清掃し、バックアップ材を詰め、その上から補修材等で補修する。バックアップ材等は脱気筒を取り付ける目地交差部周辺には詰めない。また、目地を全て塞がないようにし、十分に通気出来るスペースを空けて詰める。

2

下地に通気緩衝シートを施工し、カッター等を用いて目地交差部に脱気穴 (φ50mm) を開ける。次にドリルを用いて通気緩衝シートの上から下地に脱気筒固定用プラグレスアンカー下穴 (φ4.5mm) を開ける。

3

下穴に合わせて脱気筒本体を置き、プラグレスアンカーを用いて固定する。市販の補強クロスを適当な大きさに切り、脱気筒の上にかぶせる。

4

1. 必要に応じて補強クロスの上から本体フランジ部全体にプライマーを塗布する。
2. 脱気筒と下地との段差に沿ってシーリングを打つ。
3. ゴムベラ等を用いてシーリングを平滑にし、端末部の段差を無くし補強する。

5

コテ、ゴムベラ等を用いて塗膜防水を塗布する。塗膜防水が硬化後、刷毛・ローラーを用いてトップコートを塗布する。

6

1. 脱気筒と接合する防水層端末部分をシーリングする。
2. キャップを締めて施工完了。

外断熱工法施工例 — 断熱用コア施工例 —

1

目地交差部にプラグレスアンカーを用いて断熱用コアを固定し、断熱工事を施す。

2

断熱用コアの上から脱気筒本体をかぶせ、防水工事を施す。
*脱気筒はビス止めしません。

3

キャップを締めて施工完了。